

- 1 活動名 震災被害と防災の取組みについて
徳山駅前賑わい交流施設整備事業について
地域づくり交付金事業について

- 2 調査の目的
 - (1) 本市における課題
直下型地震のみならず、台風、集中豪雨などの自然災害が多発する中、より確実な防災体制が求められている。
JR松本駅をはじめ、村井駅、南松本駅舎の改修が計画され、駅を中心とした地域の賑わい創出が期待をされている。
地域づくりも10年を過ぎ、地域で行う様々な事業に対して、効果の検証と予算付けが課題となっている。
 - (2) 調査の必要性
上記のとおり
 - (3) 調査項目
防災対策・避難所運営対策、駅前整備計画、地域づくり交付金。

- 3 調査地選定理由
 - (1) 兵庫県神戸市
人と防災未来センターにて被災状況、防災対策、避難所運営ノウハウを視察。
 - (2) 山口県周南市
徳山駅前にオープンして2年が経過しようとしている賑わい交流施設の状況を視察、また、運営の状況などを聞き取り。
 - (3) 山口県山口市
地域づくり交付金が、本市に比べ一桁違う現状があり、交付の状況、使われ方の状況などを視察。

- 4 調査結果
 - (1) 実施日 令和2年1月26日、27日、28日
 - (2) 出席者 6名 牛丸仁志、古沢明子、中島昌子、村上幸雄、
上條俊道、柿沢潔
 - (3) 神戸市（令和2年1月26日）
 - (4) 周南市（令和2年1月27日）
 - (5) 山口市（令和2年1月27日）
 - (6) 成果・所感 別紙報告書のとおり

- 5 政務活動費
 - (1) 使途項目 調査旅費
 - (2) 支出額 508,966円(日当9,000円、宿泊費29,600円、交通費31,450円、航空運賃12,800円、防災センター入館料550円)×6人
お土産2か所(周南市、山口市)8,566円